

# 「清流の国ぎふ」創生総合戦略の改訂について

## 1 改訂の考え方

- 2018 年度に策定した「清流の国ぎふ」創生総合戦略は、5 年間（2023 年度まで）の計画であり、2021 年度は中間年に当たる。
- 策定時には想定し得なかった、新型コロナウイルス感染症の拡大は、社会経済に大きなインパクトを与え、人々の行動変容に様々な変化をもたらした。
- 感染症が与えた様々な影響を勘案し、未来志向の総合戦略に改訂する。

## 2 策定に向けた推進体制

- 「清流の国ぎふ」づくり推進県民会議のもとに設置した企画分科会において議論

### 「清流の国ぎふ」づくり推進県民会議（委員 35 名）

- ・ 各界の有識者からなる県政運営全般に係る会議（座長：森脇学長）

### 企画分科会（委員 13 名）

- ・ 県が策定又は変更する県政運営の指針（総合戦略）に関し、今後の社会経済の変化や新たな課題、政策の方向性等について、有識者の方々から意見聴取（分科会長：森脇学長）

### 地方創生分科会（委員 16 名）

- ・ 地方創生に関する取組みの実施状況、KPI の検証（分科会長：林名誉教授）

### 人づくり分科会（委員 10 名）

- ・ 各分野の人づくり・担い手対策について議論（分科会長：森脇学長）